

平成 30 年度

若年者**建設業**担い手育成支援事業 報告書



目 次

1	はじめに	1
2	全体の概要	3
	（1）事業の名称	3
	（2）事業の目的及び内容	3
	（3）事業の実施体制	3
	（4）実施スケジュール	3
	（5）事業の効果	3
3	実施計画書・実施報告書	
	（1）栃木県立宇都宮工業高等学校 環境土木科	4
	（2）栃木県立宇都宮工業高等学校 建築デザイン科	7
	（3）栃木県立那須清峰高等学校 建設工学科	12
	（4）栃木県立真岡工業高等学校 建設科	19
	（5）栃木県立今市工業高等学校 建設工学科	22
4	平成30年度若年者建設業担い手育成支援事業アンケート集計結果	25
5	まとめ	52

一般社団法人栃木県建設業協会

会長 渡邊 勇雄

近年の建設業界は、少子高齢化の進展に伴い、団塊世代の就業者の高齢化や若手就業者の入職率の低下が進んでおり「技術・技能」の伝承など、建設業の次世代を担う人材の確保・育成が喫緊の課題となっております。

このような状況の中、一般社団法人栃木県建設業協会では、栃木県教育委員会や栃木県高等学校教育研究会工業部会と連携して、平成15年度から土木・建築系の高校生を対象とした「インターンシップ事業」に取り組んでおり、建設現場等における就業体験を通し、実務的な知識や技術・技能に触れることにより、学習意欲の喚起や主体的な職業選択能力の向上に努めて参りました。

また、平成20年度からの3年間は、全国で2県、栃木県内工業高等学校3校がモデル校として、国土交通省の「建設業人材確保・育成モデル事業」（文部科学省では「地域産業の担い手育成プロジェクト」）の採択を得て、工業高等学校ならではの特徴ある取り組みにより、国をはじめ多くの関係機関から高い評価を得たところであります。このことは、ひとえに関係機関の皆様と実施高等学校の先生方の熱意の賜物と考えております。

当協会といたしましては、「建設業界を担う人材確保・育成」は重要な課題であり、今後とも、継続して各種事業に取り組んで参りますので、関係機関の皆様の更なる御支援・御協力をお願い申し上げます。

1 事業の名称 若年者建設業担い手育成支援事業

2 事業の目的及び内容

建設産業では就業者の高齢化や若年就業者の入職率・定着率の低下に伴い、技能・技術の伝承が困難な状況になることが予想されることから、将来を担う人材確保・育成が喫緊の課題となっている。そこで、工業高等学校の生徒を対象により実践的な授業を展開することで、職業選択能力及び職業意識の向上を図ることを目的とし下記の事業等を実施した。

記

- 道路舗装技術の習得
- 環境土木科教員の指導力の向上
- 企業技術者による授業（在来木造建築工法の実技指導）
- 耐力壁の製作と性能試験による実験と検証
- 多目的広場（グラウンド）の整備に関する実習
- 大工技能に関する木材加工技術の習得
- 伝統技術を学ぶ～鶴工舎
- 資材置き場の整備
- コンクリート舗装
- 足場作業の基礎知識
- 足場組立作業体験

3 事業の実施体制

- (1) 一般社団法人栃木県建設業協会
- (2) 栃木県立宇都宮工業高等学校
- (3) 栃木県立那須清峰高等学校
- (4) 栃木県立真岡工業高等学校
- (5) 栃木県立今市工業高等学校
- (6) 栃木県
- (7) 東日本建設業保証株式会社

4 事業スケジュール

平成30年4月 ～ 平成31年2月

5 事業の効果

建設産業に対する理解を深めるとともに、学習意欲を高め、主体的な職業選択能力や職業意識の向上を図ることができた。

3 実施計画書・実施報告書



栃木県立宇都宮工業高等学校 環境土木科

実施計画書

- 1 事業の名称
 - ・「道路舗装技術の習得」
 - ・「環境土木科教員の指導力の向上」

- 2 事業の目的
 - ・建設業に従事する企業技術者から道路舗装技術の指導を受け、地域の建設業の担い手となる基礎的な資質を培う。
 - ・建設分野に関するものづくりを体験することで建設業の理解を深め、その魅力を体験する。
 - ・環境土木科教員が施工実務体験など講習を受講し、安全教育に関する知識を身につけるとともに、実践的な施工実習の指導方法を習得する。

- 3 事業の内容
 - ・道路舗装技術などについて企業技術者から指導を受ける。
 - ・2級土木施工管理技術検定および測量士補受験に向けて指導を行う。

- 4 事業の実施体制
 - ・企業技術者による授業
 - 対象生徒：環境土木科2年生 40名
 - 教員：7名
 - 講師：地域の建設業者 2名
 - ・2級土木施工管理技術検定および測量士補
 - 対象生徒：環境土木科2年生 40名
 - 教員：7名

- 5 実施スケジュール
 - ・測量士補受験学習 1学期
 - ・2級土木施工管理技術検定受験学習 2学期
 - ・企業技術者による授業 11月のうちの2日間
(1日あたり4時間授業で実施)

- 6 事業の効果
 - ・最新の土木施工技術を実際に見聞することにより、建設業に対する興味・関心が高まり、土木施工に関する専門知識の理解をさらに深めることができる。

実 施 報 告 書

学 校 名	栃木県立宇都宮工業高等学校	科 名	環境土木科	学 年	2 年
参加生徒	環境土木科 2 年 39名				
担当教員	環境土木科 職員 7 名 (代表 岡田 英臣)				
実施時期 ・ 期間	平成30年11/7(水)、11/14(水)の 2 日間	教育課程上の 位置づけ	土木実習 (施工実習・材料実習)		
協力企業名	企業名	①有限会社 美山建設 ②有限会社 高全工業			
	所在地	①宇都宮市御田長島町182-2 ②宇都宮市東谷町84-6			
	電 話	①028-653-1383 ②028-655-2321	担 当 者	①代表取締役 山崎 達人 ②代表取締役 小出 高幸	
実践的技術指導のねらい	建設業に従事する企業技術者からアスファルト舗装およびインターロッキング舗装の施工技術を指導していただき、地域の建設業の担い手となる基礎的な資質を培う。また、土木のものづくりの醍醐味を生徒に体験させる。				
実践的指導の内容	専門技術者の指導を受け、2種類の舗装を行う。 1. 専門技術者による舗装工事の作業手順の説明を受け、作業全体の流れを理解する。 2. 路床および路盤の転圧技術の実演を見学し、平滑に敷きならす技術について学ぶ。 3. 砕石を計画高さで均一に敷きならしたり、転圧したりする技術を体験する。 4. インターロッキングブロックを平滑に施工する技術を体験する。 5. 専門技術者のアスファルト舗装技術を見学する。 6. 施工後の養生方法を体験する。				
実践的指導の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は、アスファルト舗装技術を間近で見ることができて大変感動していた。 ・企業技術者の指導を受け、実際に作業に携わることによって、ものづくりの素晴らしさと皆と協力することの大切さを実感していた。 ・舗装工事の作業手順を知ることができた。 ・路床および路盤の転圧技術について、建設機械の操作方法を体験することができた。 ・砕石敷きならしについて、計画高さで均一に敷きならしたり転圧したりする技術を体験できた。 ・インターロッキングブロックの配置方法を体験できた。 ・アスファルト舗装の施工について、一般舗装を体験できた。 ・施工後の養生方法を体験することができた。 ・常に安全に注意して施工する心構えを習得することができた。 				
使用設備・ 使用機器・ 材料等	【使用機器】 角スコップ、レーキ、タンバ、ローラー、水系、こて、クッションハンマー 【使用材料】 アスファルト、砕石、砂、ブロック、セメント、養生テープ、貫板、スプレー				
【報告書】 ○生徒の感想 <ul style="list-style-type: none"> ・舗装工事はインターンシップでも体験したので復習にもなり充実した時間でした。 ・アスファルトの温度が非常に熱かったので、夏場の工事は大変だと感じました。 ・今回の授業で舗装工事に興味を持ちました。機会があればもう一度やりたいです。 ・土木の仕事、内容についてより理解を深められたと思います。 ・今回の授業を受けて、実際の道路をつくってみたいと思いました。 					

○実習風景 アスファルト舗装



①講師挨拶



②作業内容の説明



③舗装面切断



④舗装を剥がす



⑤路床転圧



⑥アスファルト投入



⑦アスファルトならし



⑧アスファルトローラー転圧



⑨アスファルト舗装仕上げ

○実習風景 インターロッキングブロック舗装



⑩路床準備作業



⑪インターロッキング準備



⑫インターロッキング舗装作業



⑬仕上げ



⑭完成 講師と記念撮影

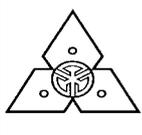
実習指導後の感想等

アスファルト舗装では、皆で協力しながら既存舗装面の Cutter 作業やローラー転圧など良くできました。仕上げもきれいにできました。インターロッキングブロック舗装では、舗装面に若干凹凸が残りましたが、初めての舗装にしてはよくできたと思います。この実習を通して土木事業に興味を持っていただくと大変ありがたいと思います。

実習指導者

山崎達人 (11月7日、14日) 2日間
山崎貴生 (11月7日) 1日間

小出高幸 (11月7日、14日) 2日間



栃木県立宇都宮工業高等学校 建築デザイン科

実施計画書

1 事業の名称

- ・「企業技術者による授業（在来木造建築工法の実技指導）」
- ・「耐力壁の製作と性能試験による実験と検証」

2 事業の目的

- ・在来木造建築について工法や特徴を理解し、建築大工専門の技術者から実践的な指導を受け、木造建築に関する知識・技術・技能を習得する。
- ・耐力壁の性能評価試験データを活用し、さらに発展させた耐力壁を設計する能力を身に付ける。また、国土交通大臣認定の取得に向けて、必要な知識と技術を習得する。

3 事業の内容

- ・企業技術者から在来木造建築における、仕口や継ぎ手の墨付け加工について指導を受ける。
- ・耐力壁に関する専門の技術者や研究者から実践的な指導を受け、鹿沼組子を応用した耐力壁を製作する。そして、国土交通大臣認定の取得に必要な性能評価試験を行う。

4 事業の実施体制

- ・企業技術者による授業
対象生徒：建築デザイン科2年建築技術コース 22名 教員：3名
- ・耐力壁の設計・製作
対象生徒：建築デザイン科3年 課題研究班 10名 教員：3名

5 実施スケジュール

- ・企業技術者による授業 11月のうちの2日
(1日あたり4時間授業で実施)
- ・耐力壁の設計・製作
課題研究 週3時間
専門技術者による授業 2日

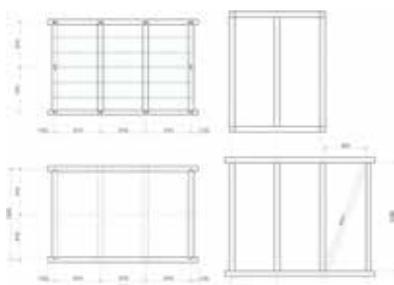
6 事業の効果

- ・最新の建築施工技術を実際に見聞することにより、建設業に対する興味・関心が高まり、建築施工に関する専門知識の理解をさらに深めることができる。

実施報告書

学校名	栃木県立宇都宮工業高等学校	科名	建築デザイン科	学年	3年
参加生徒	建築デザイン科3年 6名				
担当教員	黒崎 利之				
実施時期・期間	4～12月 (火曜日5～7時間目)	教育課程上の位置づけ	課題研究(耐震壁の設計と製作)		
実習の目標・ねらい	木造建築物の仕上げ施工に関する一連の工程を理解し、在来軸組構法による耐震実験用モデルの製作を行う。また、地震の性質と特徴を学び、耐震壁の構成と役割に関する知識を習得し、オリジナルの耐震壁を設計・製作する。				
実習の内容	<p>起振装置の架台に木造軸組耐震モデル(2730×1820)を建設し、今後の実習において、耐震実験が行いやすいように、大きさと構造を工夫した。オリジナルの耐震壁は、格子状と筋かい状の2つを設計・製作した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JW-CADにより耐震モデルを設計させる。 2. 在来軸組構法における木材の性質と特徴を理解し、木材が建築物にどのように使用されているのか理解させる。 3. 材料への墨付けを体験し理解させ、墨付け通りに加工させる。 4. 木材の機械加工手順を理解させ、安全に加工させる。 5. 在来軸組構法による建て方を行い、その方法、手順を理解させる。 6. 軸組を建て、金物で固定させる。 7. 建て直しを行い、筋かいを取り付けさせる。 8. 床組を行い、床板を張らせる。 9. オリジナルの耐力壁を設計させる。 10. 耐震壁の部品を加工し、組み立てさせる。 11. 耐震壁を取り付け、耐震実験を行わせる。 				
実習の成果	<p>今回の事業を通して、在来軸組構法について学びながら建築物の施工を体験することができた。また、生徒たちは、建物が出来上がる一つ一つの工程を楽しみながら作業をしている様子が伺えた。オリジナルの耐震壁による、耐震実験では建物の振動が抑えられ、高い効果が得られたことにたいへん感動していた。生徒全員が真剣に教員の指導を受け、技術を身に付けようとする意識が高いと感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軸組：水平の出し方を学びながら、軸組を建てる。 ・床の貼り方：床下地、床仕上材の貼り方を学習する ・金物の取り付け：金物による固定方法とその効果について学習した。 ・耐震壁：耐震壁の役割について学習した。 ・今後このモデルを利用し実習において、耐震実験を行う予定。 				
使用設備・使用機器・材料等	<p>【使用機器】 昇降盤、自動鉋、クロスカットソー、パネルソー、ほぞ取り機、小型ほぞ切り、角のみ盤、大入れルーター</p> <p>【使用材料】 集成材、パイン材、合板、各種取り付け金物、塗料</p>				
【報告書】	<p>○生徒の感想</p> <p>今回の授業を通して、設計から木材の墨付け、部材の加工、建て方を体験することができました。今まで知らなかった手工具や木工機械の使い方を理解でき、たいへん勉強になりました。最初は、どのようなものに仕上がるのか、あまり想像できませんでしたが、作業を重ね完成に近づいていくうちに、各作業内容を理解することができました。完成後に行った、オリジナルの耐震壁による振動実験では、建物の振動が抑えられ、効果が確認できたことは、たいへんうれしかったです。今後このモデルを使って実習を行う下級生も、楽しみながら学んで欲しいと思います。</p>				

○実習風景



CADを用いて木造軸組モデルを設計する



木材を墨付け、機械加工を行う



土台を組む



柱を取り付ける



桁を取り付ける



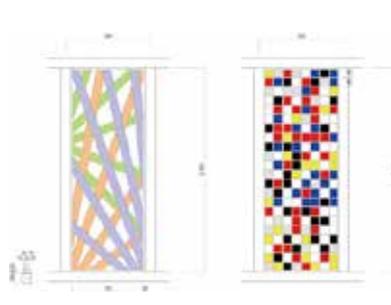
羽子板ボルトで固定する



筋かいを入れ、金物で固定する



床組を行う



オリジナル耐震壁を設計する



格子状の耐震壁を組み立てる



耐震壁を塗装する



耐震実験モデルの完成

実習指導後の感想等

建築実習で使用するため、生徒たちで考えた木造軸組の耐震実験モデルが完成しました。製作過程では、生徒たちの取り組みが素晴らしく、建物が出来上がって行く工程を楽しみながら作業を行っている姿に、充実感が伝わってきました。完成後に耐震実験を行い、予想以上の結果にたいへん驚き感動していました。この経験を将来、建築分野の仕事に活かしてほしいです。

実習指導者

黒崎 利之

実施報告書

学校名	栃木県立宇都宮工業高等学校	科名	建築デザイン科	学年	2年
参加生徒	建築デザイン科2年（建築技術コース）19名				
担当教員	建築デザイン科職員3名（代表 黒崎 利之）				
実施時期・期間	11月15日 11月16日 2日間	教育課程上の位置づけ	建築実習（木材加工）		
協力企業名	企業名	有限会社 齋藤工務店			
	所在地	宇都宮市駒生町1081-6			
	電話	028-648-4836	担当者	齋藤 良吉	
実習の目標・ねらい	建築構造や木材加工実習の授業で学んだ内容の応用として、木造継ぎ手や仕口の構造について理解する。また、手工具を用いた木材加工や組み立て技術を習得し、木構造に関する高度な知識と技能を習得する。				
実習の内容	<p>今年度も「とちぎものづくりマイスター」から指導を受けた。実習内容は「とちぎものづくり選手権 建築大工」の課題とし、その製作を通して、木構造の構造的特徴と材料の性質を学び、継ぎ手や仕口加工の基本的な工程について、実践的に学習した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 木材に関する性質や特徴を理解し、木材の向きをどのように使用するのか説明を受けた。 2. 課題を図面で確認し、木材への墨付け位置と墨付け手順について、実演を通して学習した。 3. 専門技術者や担当の先生からサポートを受けながら、木材に課題図面通り墨付けを行った。 4. 手工具による木材加工技術の実演を見学した。（ノミによるほぞ穴加工、鋸による材料の切断やアリほぞの加工） 5. 墨付けをした材料に加工を行う。細部の加工には、専門技術者のサポートを受け加工した。 6. 木工機械による加工手順の説明を受け、ほぞ穴・アリ溝の機械加工を行った。 7. 加工した材料の組み立てを行った。 8. 完成した作品に対して、専門技術者による指導と講評を行った。 				
実習の成果	<p>専門の大工技術者を講師に迎え、高度な木材加工技術の実演と指導を行っていただいた。課題製作を通して、木材加工の基本となる仕口や継ぎ手を木材の性質を理解し、加工する方法について学習した。また、生徒にとって難易度の高い作業については、講師の方から実演していただき、大変充実した実習となった。生徒全員が真剣に実習に取り組み、分からない内容については、講師に対して積極的に質問をしていた。このような姿勢から、本物の技術を習得したいという気持ちが伝わってきた。</p>				
使用設備・使用機器・材料等	<p>【使用機器】 鋸、ノミ、鉋、差し金、墨つぼ、墨差し、角ノミ</p> <p>【使用材料】 杉材（98mm角）</p>				
<p>【報告書】</p> <p>○生徒の感想</p> <p>今回の実習において、墨付けから組立まで一通りの大工作業を経験することができました。特に、鎌継ぎの加工はたいへん難しく、何とか講師の先生に手伝っていただき、継ぐことができました。今回の体験では、大工技能の素晴らしさと木材加工の面白さを痛感しました。今後は、建築実習や授業を通して、さらに多くの建築大工や建築施工に関する知識や技術を学び、社会に貢献できるような高い技術力を持った技術者に成長したいと思います。</p>					

○実習風景



木材の特徴と性質について学ぶ



材料への墨付け方法の説明を受ける



98mm角×1500mmの杉材を使用し、課題を製作する



講師によるサポートを受け、生徒自身で墨付けを行う



難易度の高い鎌継ぎ加工を鋸で仕上げる



鋸を使用した、巧みな加工技術の実演を見る



ノミを使用した、ほぞ孔加工の実演を見る



講師から実践的なサポート指導を受ける



ほぞ孔を専用の機械を使って加工する



継ぎ手の組立調整方法について指導を受ける



きれいに加工された材料



作品を前に全員で記念撮影

実習指導後の感想等

製作課題は、木材加工における仕口や継ぎ手など基本を押さえた内容であった。生徒達は、特に鎌継ぎの加工は難易度が高く、かなり苦戦していたが、集中して取り組み、全員が完成させることができた。多くの生徒が達成感に満ち、ものづくりの素晴らしさを感じていた。今後この生徒達が素晴らしい技術者に成長し、建築業界に貢献してくれることを願う。

実習指導者

齋藤 良吉



実施計画書

1 事業の名称

- ・「多目的広場（グラウンド）の整備に関する実習」
- ・「大工技能に関する木材加工技術の習得」
- ・「伝統技術を学ぶ～鶴工舎」

2 事業の目的

- ・建設業に従事する企業技術者から様々な技術指導を受け、若年者建設業担い手となる基礎的な資質を培う。

3 事業の内容

- ・多目的広場（グラウンド）の整備について企業技術者から指導を受ける。
- ・木材加工技術や工法について技術者から指導を受ける。
- ・宮大工（鶴工舎）の講話を聞き伝統技術を学ぶ。

4 事業の実施体制

- ・(株)鶴工舎 講演会
 対象生徒：建設工学科全生徒及びその保護者
 教員：10名
 講師：小川 三夫 氏
- ・木材加工技術の習得
 対象生徒：建設工学科 3年生 建築コース 6名
 教員：2名
 講師：桑川 勝巳 氏
- ・多目的広場（グラウンド）の整備
 対象生徒：建設工学科 2年生 土木コース 24名
 教員：6名
 講師：株式会社 生駒組

5 実施スケジュール

- ・(株)鶴工舎 小川 三夫 氏 講演会 6月13日（水）
- ・木材加工技術の習得 6～7月（5日間）
- ・多目的広場（グラウンド）の整備 7月18日（水）

6 事業の効果

- ・建設のものづくりの流れを学ぶとともに、ものづくりに興味・関心、意欲的な技術者の育成

実 施 報 告 書

学 校 名	栃木県立那須清峰高等学校	科 名	建設工学科	学 年	1～3年
参加生徒	建設工学科 1～3年 120名				
担当教員	建設工学科 職員11名(代表教員 飯塚 智樹)				
実施時期 ・ 期間	6/13(水)	教育課程上の 位置づけ	伝統技術を学ぶ		
協力 企業 名	企業名	株式会社 鶴工舎			
	所在地	塩谷郡塩谷町田所1242-10			
	電 話	0287-45-2561	講 演 者	小川 三夫	
講演会の ねらい	卓越技能者「現代の名工」から宮大工の伝統及び技能を学ぶ。				
講演会の内容	○宮大工への道 ○修行 ○鶴工舎の人づくり ○木について ○大工仕事について ○やりがんなの実演及び体験				
講演会の成果	・ 普段、なかなか関わることのできない卓越技能者「現代の名工」に選ばれた宮大工の方から、1000年以上も受け継がれてきた伝統文化について学ぶことができた。 ・ 仕事や人間の在り方について学ぶことができた。 ・ 間近で職人の技を見ることができた。 ・ 将来の進路決定の参考となった。				
使用設備・ 使用機器・ 材料等	【使用機器】 パソコン、プロジェクター、レーザーポインター 【使用道具・材料】 やりがんな、檜				
【報告書】 ○生徒の感想 「現代の名工」に選ばれた小川氏から、1000年以上も受け継がれた伝統文化とともに、仕事や人間の在り方について学ぶことができました。講演会では、なかなか関わることのできない卓越技能者ならではの、貴重な話もたくさん聞けました。講演会の後半には、「やりがんな」の実演をしていただき、間近で職人の技を見せていただきました。その後、私たちも「やりがんな」を体験させていただきました。本日は、大変貴重な講演を聴くことができ、大変勉強になりました。ありがとうございました。					

○講演会写真



学校長挨拶並びに講師紹介



鶴工舎 小川 三夫 氏



講演会



やりがんな実演



やりがんな体験



質疑応答



代表生徒からお礼の言葉



花束贈呈

講演会後の感想等

将来の参考にして頂ければ幸いです。

講演者

小川 三夫

実施報告書

学校名	栃木県立那須清峰高等学校		科名	建設工学科	学年	3年
参加生徒	建設工学科 3年建築コース 6名					
担当教員	建設工学科 職員1名 笠倉 幸子					
実施時期 ・期間	6月1日、8日、15日、22日、 7月6日(計5日間)		教育課程上の 位置づけ	課題研究		
協力 企業 名	企業名					
	所在地					
	電話		担当者	糸川 勝巳 氏		
実践的技術指導のねらい	製作物の加工を通して木材加工技術について指導していただき、より実践的な技術・技能を身に付ける。					
実践的指導の内容	課題の製作を通して 1. 木材の性質について学習する。 2. 加工技術を体験しながら習得する。 3. 各種工具類の使い方の体験をする。 4. 材料等の製材について学習する。 5. 道具の手入れについて学習する。 6. 効率よく、安全に作業する方法を学習する。					
実践的指導の成果	今回の事業を通して、製材する機械の使用方法から加工までの過程を学んだ。 ・木材の性質の違いについて学ぶことが出来た。 ・2×4材について、規格寸法や材質について学ぶことが出来た。 ・製作物の強度を高くする結合方法と釘の打ち方について学ぶことが出来た。 ・安全に作業するための道具の手入れについて学ぶことが出来た。 ・各工程の作業において、効率よく進める為に工夫していることを学ぶことが出来た。					
使用設備・ 使用機器・ 材料等	【使用機器】 のこぎり、さしがね、のみ、玄翁、インパクトドライバ、クロスカットソー、 パネルソー、リップソー、自動かんな盤、ボール盤 【使用材料】 2×4材、ヒノキ板材、松板材、杉角材、合板、木丸棒					
【報告書】 ○生徒の感想 ・自分達で課題を作る上で、道具をどの様に使うと効率がよくなるか、仕上がりがきれいになるかなど、初めて知る技術をたくさん得ることが出来ました。 ・実際にその課題ができるまでの技術を細かく学んで、大変貴重な経験となりました。 ・ものづくりをすることの楽しさを改めて実感しました。今後、木を使って加工したりする時に、この体験を活かしていきたいです。また、学校にある機械の使い方を学ぶことが出来て良かったです。						

○実習風景



計画



試作品の製作



木材の性質を見極めて配置



自動かな盤



墨付け



機械に治具の取り付け



超仕上げかな盤



穴あけ



釘うち



仮組み立て



ダボの製作



ダボ埋め



組み立て



完成



手かな体験

<p>実習指導後の感想等</p>	<p>実際に課題をどう作っていくか考えることから始まり、学校にある機械や道具を使いながら完成に向けて一生懸命取り組んでいる姿が印象的であった。ものづくりの面白さを感じてもらえてよかった。これからの授業、実習に活かしてもらいたい。</p>
<p>実習指導者</p>	<p>糸川 勝巳</p>

実 施 報 告 書

学校名	栃木県立那須清峰高等学校		科名	建設工学科	学年	2年
参加生徒	建設工学科 2年土木コース 24名					
担当教員	建設工学科 職員6名					
実施時期・期間	7/18(水)		教育課程上の位置づけ	土木実習(施工実習)		
協力企業名	企業名	株式会社 生駒組				
	所在地	那須塩原市太夫塚5丁目221番地				
	電話	0287-36-0648	担当者	土木部長 白井 英樹		
実践的技術指導のねらい	建設業に従事する企業技術者からグラウンドの整備方法について指導していただき、地域の建設業の担い手となる基礎的な資質を培う。					
実践的指導の内容	専門技術者の指導を受け、グラウンド整備方法の技術を学ぶ。 1. 専門技術者による作業手順の説明を受け、作業全体の流れを理解する。 2. 整地準備の見学。 3. 手作業による砂の敷き均し。 4. 機械作業による敷き均し見学。 5. 仕上げ。					
実践的指導の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・今回はグラウンドの表層部だけではあったが、グラウンドがどのように整備されているかを理解する機会になった。 ・手作業による整備を体験し、作業が重労働なことを理解した上で機械施工を見ることができた。効率だけでなく重機オペレーターの技術・技能も知ることができた。また、直接、説明や指導をしてもらうことで理解が深まり、ものづくりの興味・関心を高めることができた。 ・建設業に対する、関心・意欲も高まり、進路決定の参考になった。 ・学校で役立つ環境整備ができた。 					
使用設備・使用機器・材料等	【使用機器】 バックホー、ケンスコ、カクスコ、トンボ、一輪車、レベル一式 【使用材料】 山砂、川砂					
【報告書】 ○生徒の感想 グラウンド整備は簡単そうに見えましたが、とても重労働でした。重機オペレーターの方は簡単に敷きならしているように見えましたが、自分たちが操作してもうまくいかないと感じました。また、手早く無駄のない作業を見ることができ感動しました。今回の実習は、とても楽しく、非常に興味を持つことができました。						

○実習風景



砂の敷き均し



水準測量



建設技術者からの指導



作業の様子



バックホーによる敷き均し



建設技術者による講評



ドローンから撮影した様子

実習指導後の感想等

実習指導者

白井 英樹



実施計画書

1 事業の名称

- ・「平成30年度 若年者建設業担い手育成支援事業」

2 事業の目的

- ・建設産業においては、就業者の高齢化や若年就業者の入職率の低下が進んでおり、技能・技術の伝承など、次世代を担う人材の育成が課題となっている。

このような現状から、栃木県建設業協会と県内各工業高校が連携し建設業界のニーズを踏まえ、高校生が実践的な知識や技術・技能に触れることで、建設産業をより深く理解する。

3 事業の内容

- ・資材置き場の整備
- ・コンクリート舗装

4 事業の実施体制

- ・地域の企業と連携した実習
建設科 3年生 39名

5 実施スケジュール

- ・平成30年9月下旬～10月上旬頃に実施 3日間

6 事業の効果

- ・ものづくりを通じて、建設産業に携わる者としての意識や意欲の向上を図る。

実施報告書

学校名	栃木県立真岡工業高等学校	科名	建設科	学年	3年
参加生徒	建設科 3年 38名				
担当教員	建設科 職員9名(代表教員 倉持 正行)				
実施時期・期間	10/15、22、29の3日間	教育課程上の位置づけ	土木実習・建築実習		
協力企業名	企業名	有限会社 添野工務店			
	所在地	栃木県下野市仁良川1657-11			
	電話	0285-48-0110	担当者	糸川 勝巳	
協力企業名	企業名	有限会社 添谷工業			
	所在地	栃木県芳賀郡益子町大字塙2273			
	電話	0285-72-4304	担当者	添谷 徹	
実践的技術指導のねらい	・木造建築に関する施工体験を兼ねた資源置き場の製作 ・施工体験を兼ねたコンクリート舗装工事				
実践的指導の内容	(1) 木造軸組の継手・仕口などの加工体験 (2) 木組み構法による木造軸組の上棟体験 (3) 屋根・外壁施工体験 (4) コンクリート舗装工事体験				
実践的指導の成果	(1) 生徒の変容 ・木材加工を体験し、安全で正確に加工する方法を学んだ。 ・仮設工事から完成まで、一連の作業を体験することで、それぞれの工程の重要性や役割を理解することができた。 ・実際の作業を通して、金物の種類や役割を学ぶことができた。 ・打設体験では、コンクリートミキサー車での練ませから打設作業を体験し、鏝による仕上げ方を学んだ。 ・いずれの作業も、生徒それぞれが興味関心を持ち、積極的に参加した。 (2) 教員の資質向上 ・資材置き場の製作を通して、伝統的な工法について学ぶことができた。 (3) 学習環境の充実 ・今後の実習に生かすことができる内容になった。 (4) 教育界と建設業界の連携強化 ・地元企業との協力関係が深まった。				
使用設備・使用機器・材料等	大工手工具一式 釘・ビス・振動ドリル・手押し丸鋸・インパクトドライバー 木材(杉・檜)・コンパネ・砂・砂利・碎石・コンクリート など				
【報告書】○生徒の感想 ・建物を造るには、木材が多くあったり、様々な加工技術があったりして、とても手間がかかっていることを知った。 ・設計から、加工・組立てを行うことで、建物を造るための一連の作業を学ぶことができた。 ・教科書で学んだ建築金物を使うことで、どのように取り付けられているのか学ぶことができた。 ・みんなで協力して学校に役立つものが残せて、達成感を味わうことができてよかった。 (建築コース) ・手作業による掘削作業や型枠設置がとても大変でしたが、いろいろな道具の使い方を学ぶことができた。 ・コンクリートミキサー車によるコンクリートの打設はとても貴重な体験ができてよかった。 ・鏝で仕上げて完成したときは達成感があり、とてもやりがいのある仕事だと感じた。 (土木コース)					

○実習風景



アンカー設置



足場設置



加工指導



土台のすえつけ



柱の設置



桁の設置



筋交いの設置



垂木の取付け



金物の取付け



屋根の打付け



外壁の打付け



資材置き場の完成



型枠設置



コンクリート打設



舗装工事の完成

実習指導後の感想等

生徒がこれまで学んできた継手や仕口が木構造でどのように使われているか学べるように指導を行いました。また、建築金物などがどのように取り付けられているのかも実際の作業を通して学んでもらえたと思います。
指導を受けていた生徒が中心となって、作業に一生懸命取り組んでおり、今回の事業に携われてよかったと思います。今回経験したことを、今後の社会生活に生かしていただければと思います。

実習指導者

桑川 勝巳



実施計画書

1 事業の名称

- ・「足場作業の基礎知識」
- ・「足場組立作業体験」

2 事業の目的

- ・建設業に従事する企業技術者から施工技術の指導を受け、建設業の担い手となる基礎的な資質を培う。また、施工技術を体験することにより、安全教育に関する知識を身につけるとともに、実践的な施工実習の指導方法を習得する。

3 事業の内容

- ・足場作業に関する基礎知識、足場作業に伴う安全教育、足場の組立・解体方法などについて企業技術者から指導を受ける。

4 事業の実施体制

対象生徒：建設工学科 1年 31名
職 員：9名

5 実施スケジュール

- ・1月の2日間
- 講話、講義 1日（3時間）
- 講義、作業体験 1日（6時間）

6 事業の効果

- ・施工技術を体験することにより、建設業に対する興味・関心が高まり、専門知識の理解をさらに深めることができる。

実施報告書

学校名	栃木県立今市工業高等学校	科名	建設工学科	学年	1年
参加生徒	建設工学科 1年 30名 (男子22名、女子 8名)				
担当教員	建設工学科職員 (代表 村上 由喜子)				
実施時期・期間	1/16、1/23 の2日間	教育課程上の 位置づけ	建設実習 (施工)		
協力企業名	企業名	株式会社 大勝建設			
	所在地	栃木県宇都宮市幕田383-2			
	電話	028-616-6201	担当者	取締役会長 永田 良夫 代表取締役 永田 勝美	
実践的技術指導のねらい	地域産業の次世代の担い手として、学校の授業だけでは体験する事の出来ない建設産業に興味・関心を持ち、その産業の発展に貢献しようとする心構えを育成する。足場作業に関する基礎基本の習得を目指し、安全教育の重要性や意義を理解する。また、建設工学科職員の指導力の向上を図る。				
実践的指導の内容	(1) 足場の歴史及び足場とは (2) 足場及び作業の方法に関する知識 (3) 足場組立・解体の手順に関する知識 (4) 労働災害防止に関する知識・関係法令 (5) 足場組立・解体作業の実習				
実践的指導の成果	・足場作業の基礎知識についての講話をいただいた。専門用語に戸惑いもあったが、詳しく説明いただき普段では味わえない授業や実習により、足場作業に関する基礎基本を習得することができた。				
使用設備・使用機器・材料等	【安全具】 保護帽、軍手、ハーネス型安全帯 【手すり先行次世代足場ミレニューム】 敷板、ジャッキベース、支柱、布材 (根がらみ)、先行手すり筋交い、布材、床付き布わく				
【報告書】 ○生徒の感想 ・建設の専門的な講話は初めてだったので、専門的な話やわからない単語が多かったが、一つ一つ丁寧に説明してくれたので、わかりやすかった。 ・安全教育のDVDを視聴しましたが、とてもリアルな映像で驚きました。自分の不注意で他者に被害を与えてしまうので、責任を持って安全に、周りに注意しながら作業をすることが大切だと感じた。 ・体験実習では安全帯を着用しました。とても重く多くの器具をぶら下げて逆に危ないと思っていましたが、どれも無駄なく使用することで安全に作業できることがわかった。 ○職員の感想 ・足場作業に伴う安全教育の指導方法や、ミレニューム足場の一連の作業をご指導いただき、専門書から学ぶことの出来ない知識や技術を多少身につけることができた。今後の足場実習でミレニューム足場の組立・解体を取り入れ生徒に指導していきたい。					

○実習風景

<講話・講義>



足場作業の講義



労働災害防止の講義



休憩の1コマ

<体験実習・生徒>



ハーネス型安全帯の取付



布材の設置



足場に昇ってポーズ



布わくの設置



上層先行手すり筋交いの設置



足場の前で記念撮影

<体験実習・教員>



技術者による授業後の感想等

高校生（1年生）に薦のなにから教えたらよいか？迷いましたが、実技に関しては95点でした。しかし座学がやはり伝えづらいと言うか？伝わらないと感じたのは、私だけではないと思います。出来るだけ現場と同じ様に実技を先行して行うことでイメージが鮮明に成り、『あっ！こんなの工事現場で見た事ある』など、興味とイメージを作ってあげられれば、危険な場所や危ない行動の理解にも繋がっていく様な気がします。この様な実習に参加させて頂き誠に有難う御座いました。

実習指導者

永田 良夫

永田 勝美

渡辺 翔太

レ・トゥアン・フン

平成30年度若年者建設業担い手育成支援事業 アンケート集計結果（全体）

平成30年度若年者建設業担い手育成支援事業の実施に伴い、事業実施高等学校の生徒を対象にアンケート調査を行いました。ここでは、アンケートを実施した全ての高等学校に係る全体の集計結果を報告致します。

○ 実施高校

- ・ 宇都宮工業高等学校 環境土木科 建築デザイン科
- ・ 那須清峰高等学校 建設工学科
- ・ 真岡工業高等学校 建設科
- ・ 今市工業高等学校 建設工学科

○ 回答者総数 218名

アンケート実施項目

- 1 あなたが在学する高校を選んだ理由
- 2 高校卒業後の進路について
- 3 建設業についてあなたはどのように感じていますか。
- 4 建設業は国の基幹産業であり、経済発展に重要な役割を果たしていると思いますか。
- 5 建設会社にもし就職したら、どんな職種に進みたいですか。
- 6 建設会社にもし就職したら会社のどのような情報を知りたいですか。
- 7 今回の実習はどうでしたか。

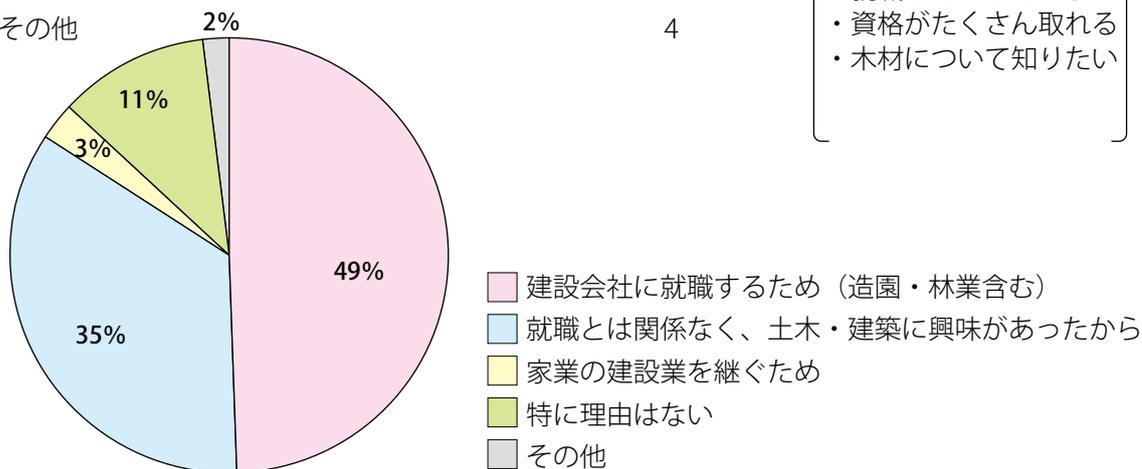
全体集計表

<問1> あなたが在学する高校を選んだ理由

1) 建設会社に就職するため（造園・林業含む）	108
2) 就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから	76
3) 家業の建設業を継ぐため	6
4) 特に理由はない	24
5) その他	4

その他の理由

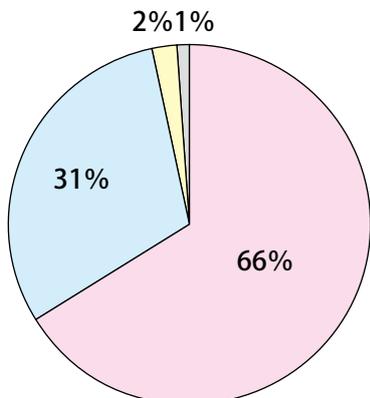
- ・ライフ部に入りたかった
- ・就職したかったから
- ・資格がたくさん取れる
- ・木材について知りたい



<問2> 高校卒業後の進路について

【進路希望の割合】

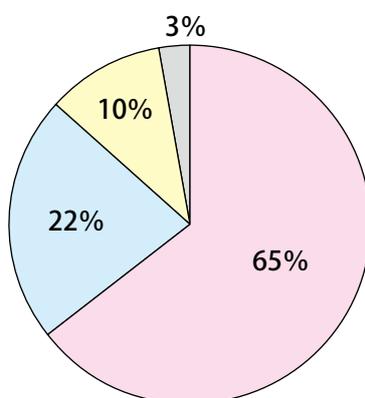
1) 就職希望	144
2) 進学希望	66
3) 家業の後継ぎ	5
4) その他	2



就職希望
進学希望
家業の後継ぎ
その他

【就職希望者の内訳】

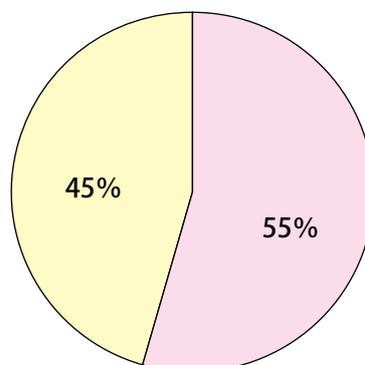
1) 建設会社	93
2) 建設会社以外の会社	32
3) 公務員	15
4) その他	4



建設会社
建設会社以外の会社
公務員
その他

【進学希望者の内訳】

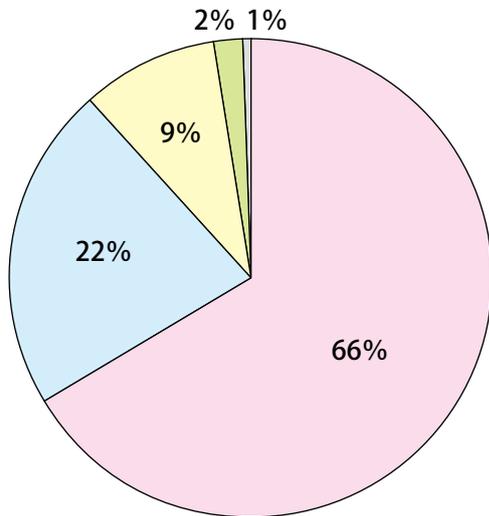
1) 大学	36
2) 短大	0
3) 専門学校	30



大学
短大
専門学校

<問3> 建設業についてあなたはどのように感じていますか

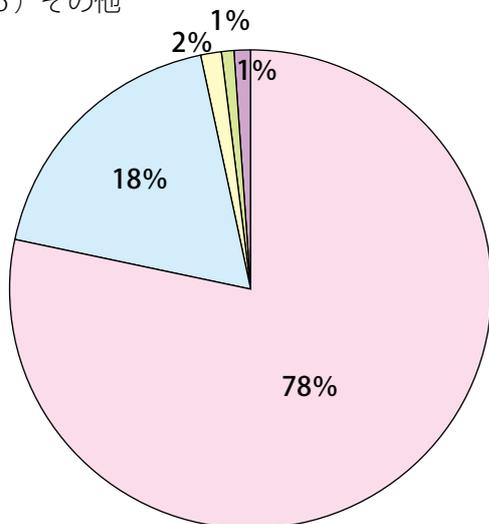
1) 魅力ある職業で、就職したいと考えている	145	【 その他の理由 】
2) 魅力ある職業だが、就職する考えはない	48	
3) よくわからない	20	
4) いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない	4	
5) その他	1	



- 魅力ある職業で、就職したいと考えている
- 魅力ある職業だが、就職する考えはない
- よくわからない
- いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない
- その他

<問4> 建設業は国の基幹産業であり、経済発展に重要な役割を果たしていると思いますか

1) そう思います	171	【 その他の理由 】
2) そう言われれば、そうかな	40	
3) そんな重要な産業とは知らなかった	3	
4) そう言われて、建設業に対する認識を新たにした	2	
5) そう思っていない	2	
6) その他	0	

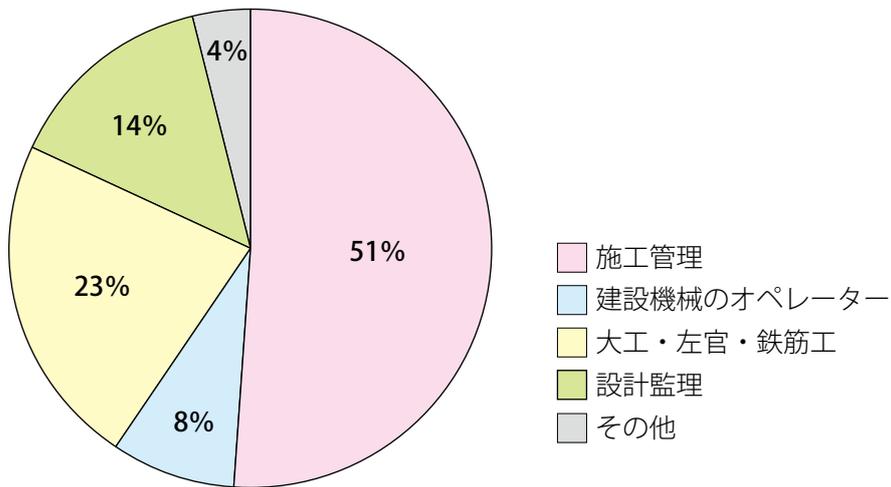


- そう思います
- そう言われれば、そうかな
- そんな重要な産業とは知らなかった
- そう言われて、建設業に対する認識を新たにした
- そう思っていない
- その他

<問5> 建設会社にもし就職したら、どんな職種に進みたいですか

1) 施工管理	111
2) 建設機械のオペレーター	18
3) 大工・左官・鉄筋工	49
4) 設計監理	31
5) その他	8

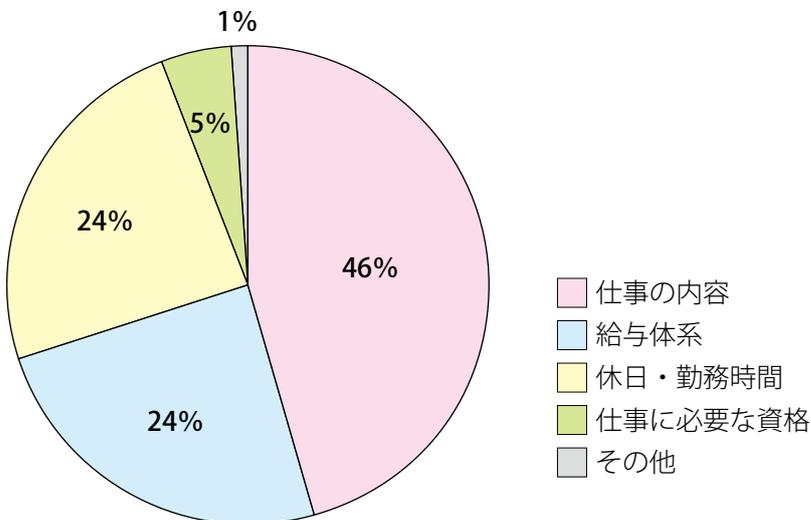
その他の希望
 ・建築士
 ・インテリアデザイナー
 ・CADオペレーター
 ・製造業



<問6> 建設会社にもし就職したら会社のどのような情報を知りたいですか

1) 仕事の内容	103
2) 給与体系	55
3) 休日・勤務時間	54
4) 仕事に必要な資格	11
5) その他	2

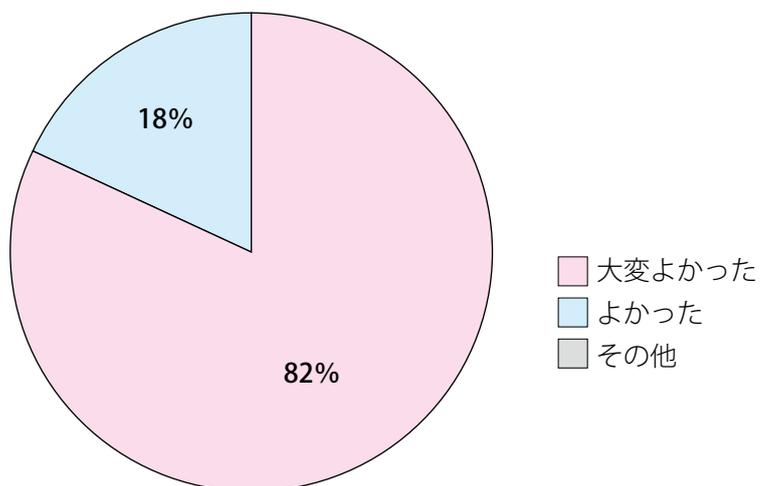
知りたい情報



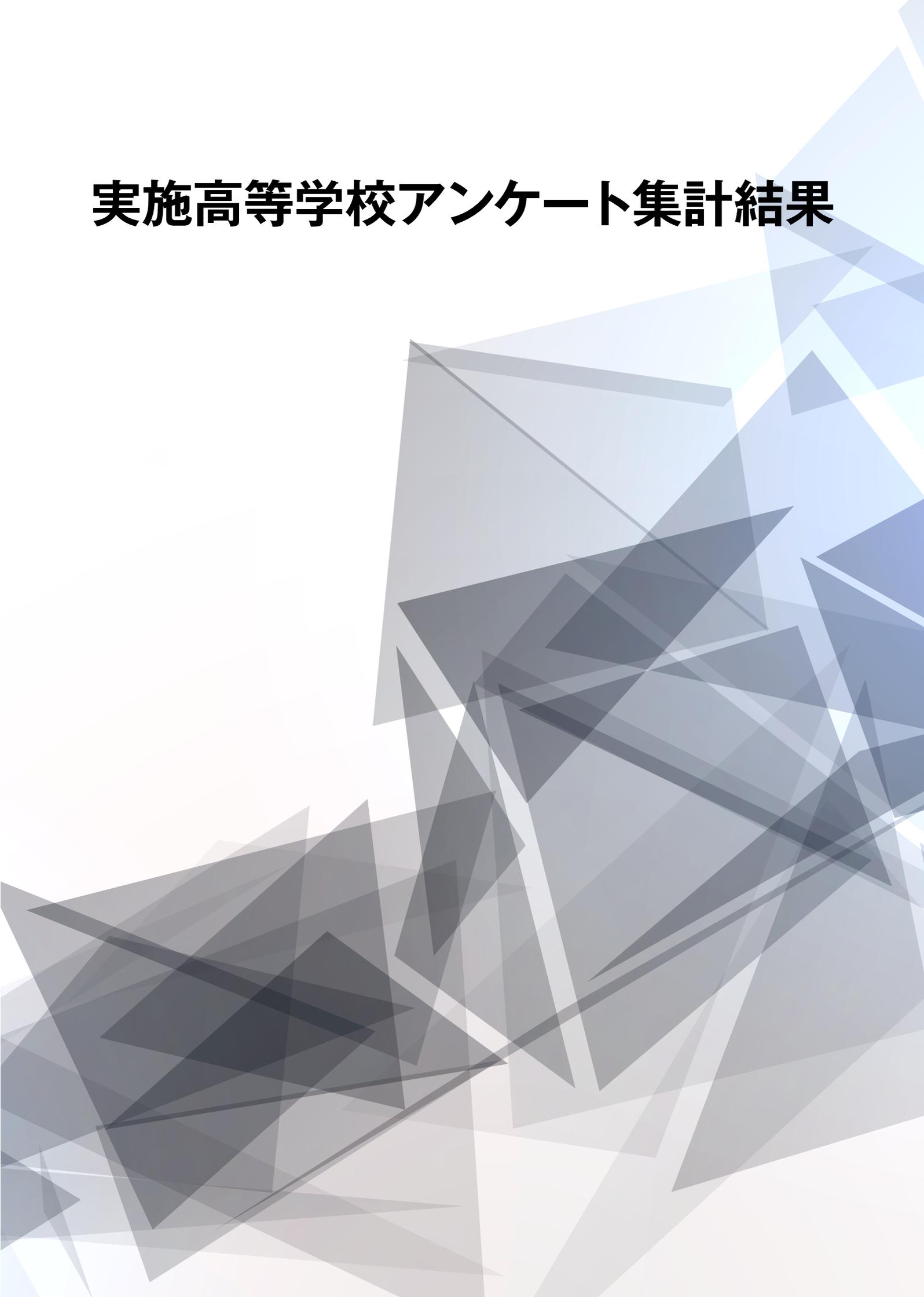
<問7> 今回の実習はどうでしたか

1) 大変よかった	179
2) よかった	39
3) その他	0

その他の意見
・ 普通
・ 全然わからなかった
・ どちらでもない



実施高等学校アンケート集計結果



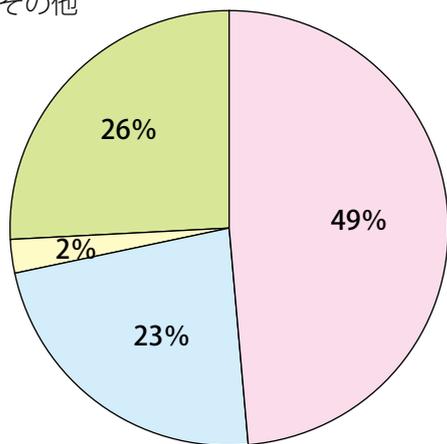


栃木県立宇都宮工業高等学校 環境土木科

<問1> あなたが在学する高校を選んだ理由

- | | |
|----------------------------|----|
| 1) 建設会社に就職するため（造園・林業含む） | 19 |
| 2) 就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから | 9 |
| 3) 家業の建設業を継ぐため | 1 |
| 4) 特に理由はない | 10 |
| 5) その他 | 0 |

その他の理由

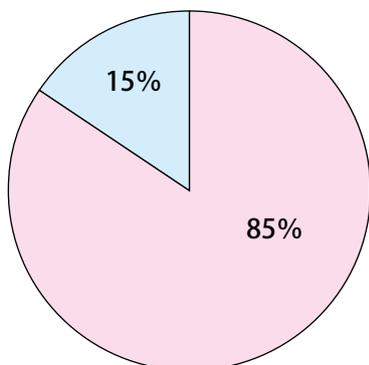


- 建設会社に就職するため（造園・林業含む）
- 就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから
- 家業の建設業を継ぐため
- 特に理由はない
- その他

<問2> 高校卒業後の進路について

【進路希望の割合】

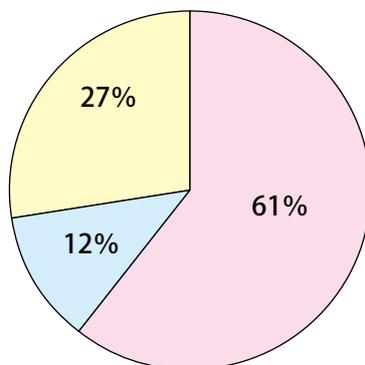
- | | |
|-----------|----|
| 1) 就職希望 | 33 |
| 2) 進学希望 | 6 |
| 3) 家業の後継ぎ | 0 |
| 4) その他 | 0 |



- 就職希望
- 進学希望
- 家業の後継ぎ
- その他

【就職希望者の内訳】

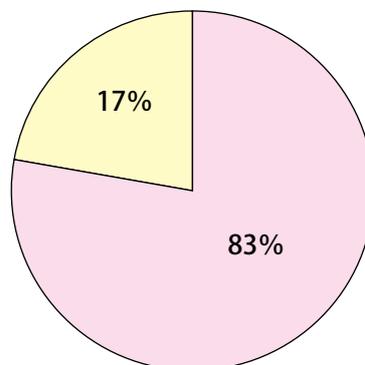
- | | |
|--------------|----|
| 1) 建設会社 | 20 |
| 2) 建設会社以外の会社 | 4 |
| 3) 公務員 | 9 |
| 4) その他 | 0 |



- 建設会社
- 建設会社以外の会社
- 公務員
- その他

【進学希望者の内訳】

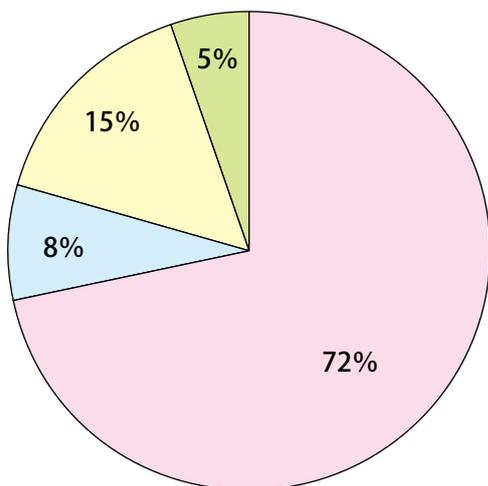
- | | |
|---------|---|
| 1) 大学 | 5 |
| 2) 短大 | 0 |
| 3) 専門学校 | 1 |



- 大学
- 短大
- 専門学校

<問3> 建設業についてあなたはどのように感じていますか

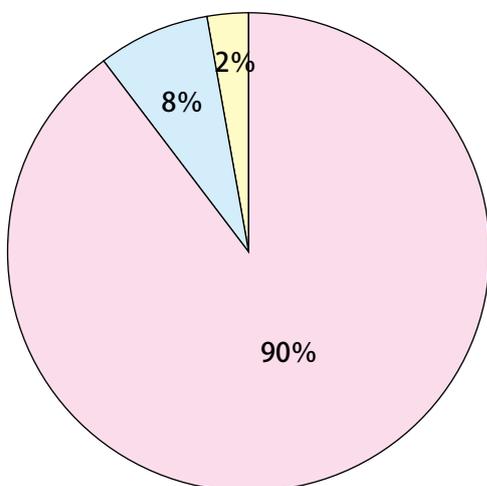
1) 魅力ある職業で、就職したいと考えている	28	【 その他の理由 】
2) 魅力ある職業だが、就職する考えはない	3	
3) よくわからない	6	
4) いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない	2	
5) その他	0	



- 魅力ある職業で、就職したいと考えている
- 魅力ある職業だが、就職する考えはない
- よくわからない
- いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない
- その他

<問4> 建設業は国の基幹産業であり、経済発展に重要な役割を果たしていると思いますか

1) そう思います	35	【 その他の理由 】
2) そう言われれば、そうかな	3	
3) そんな重要な産業とは知らなかった	1	
4) そう言われて、建設業に対する認識を新たにした	0	
5) そう思っていない	0	
6) その他	0	

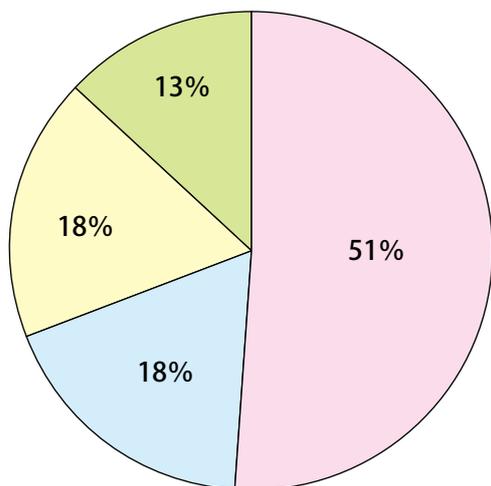


- そう思います
- そう言われれば、そうかな
- そんな重要な産業とは知らなかった
- そう言われて、建設業に対する認識を新たにした
- そう思っていない
- その他

<問5> 建設会社にもし就職したら、どんな職種に進みたいですか

- 1) 施工管理 20
- 2) 建設機械のオペレーター 7
- 3) 大工・左官・鉄筋工 7
- 4) 設計監理 5
- 5) その他 0

その他の希望
・まだ未定

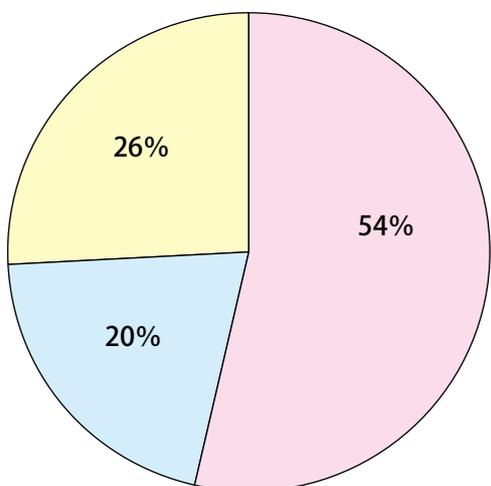


- 施工管理
- 建設機械のオペレーター
- 大工・左官・鉄筋工
- 設計監理
- その他

<問6> 建設会社にもし就職したら会社のどのような情報を知りたいですか

- 1) 仕事の内容 21
- 2) 給与体系 8
- 3) 休日・勤務時間 10
- 4) 仕事に必要な資格 0
- 5) その他 0

知りたい情報

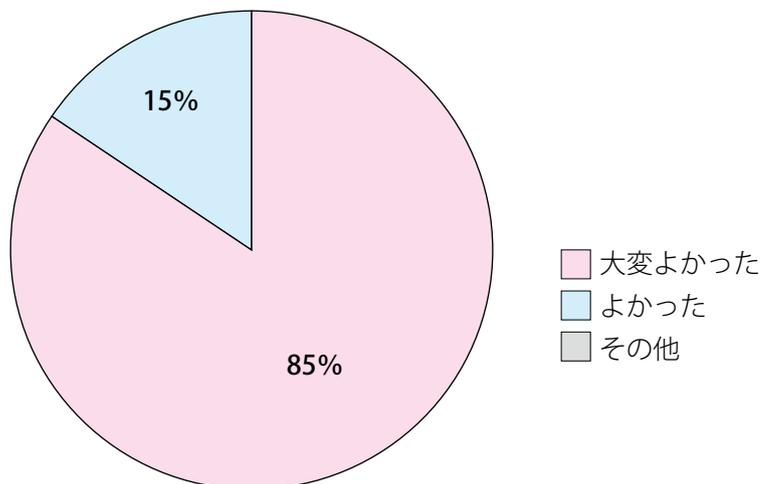


- 仕事の内容
- 給与体系
- 休日・勤務時間
- 仕事に必要な資格
- その他

<問7> 今回の実習はどうでしたか

- 1) 大変よかった 33
- 2) よかった 6
- 3) その他 0

その他の意見



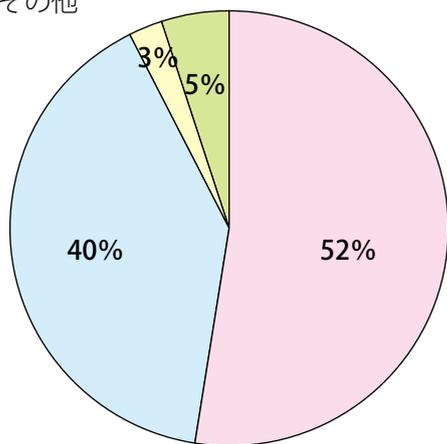


栃木県立宇都宮工業高等学校 建築デザイン科

<問1> あなたが在学する高校を選んだ理由

- | | |
|----------------------------|----|
| 1) 建設会社に就職するため（造園・林業含む） | 21 |
| 2) 就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから | 16 |
| 3) 家業の建設業を継ぐため | 1 |
| 4) 特に理由はない | 2 |
| 5) その他 | 0 |

その他の理由

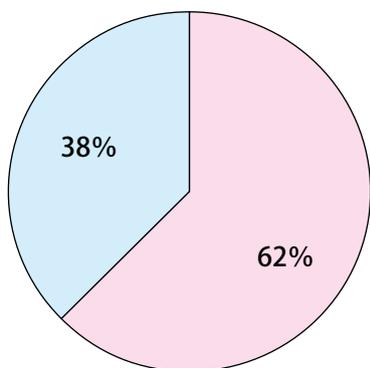


- 建設会社に就職するため（造園・林業含む）
- 就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから
- 家業の建設業を継ぐため
- 特に理由はない
- その他

<問2> 高校卒業後の進路について

【進路希望の割合】

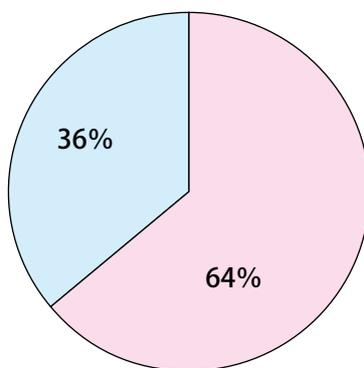
- | | |
|-----------|----|
| 1) 就職希望 | 25 |
| 2) 進学希望 | 15 |
| 3) 家業の後継ぎ | 0 |
| 4) その他 | 0 |



- 就職希望
- 進学希望
- 家業の後継ぎ
- その他

【就職希望者の内訳】

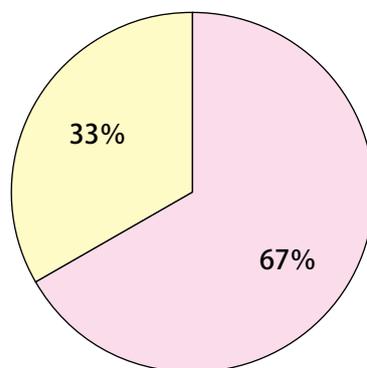
- | | |
|--------------|----|
| 1) 建設会社 | 16 |
| 2) 建設会社以外の会社 | 9 |
| 3) 公務員 | 0 |
| 4) その他 | 0 |



- 建設会社
- 建設会社以外の会社
- 公務員
- その他

【進学希望者の内訳】

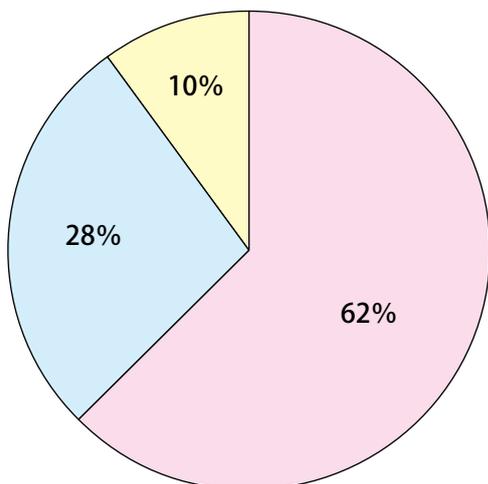
- | | |
|---------|----|
| 1) 大学 | 10 |
| 2) 短大 | 0 |
| 3) 専門学校 | 5 |



- 大学
- 短大
- 専門学校

<問3> 建設業についてあなたはどのように感じていますか

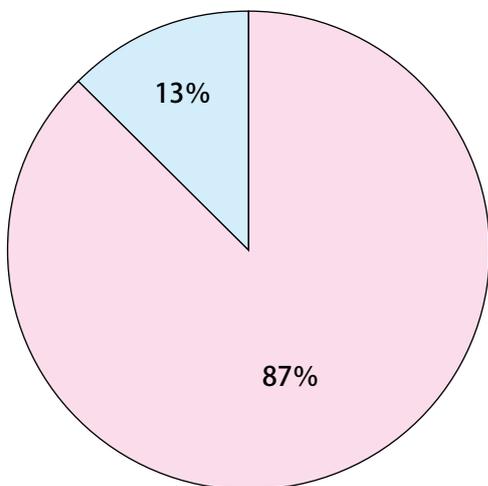
1) 魅力ある職業で、就職したいと考えている	25	【 その他の理由 】
2) 魅力ある職業だが、就職する考えはない	11	
3) よくわからない	4	
4) いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない	0	
5) その他	0	



- 魅力ある職業で、就職したいと考えている
- 魅力ある職業だが、就職する考えはない
- よくわからない
- いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない
- その他

<問4> 建設業は国の基幹産業であり、経済発展に重要な役割を果たしていると思いますか

1) そう思います	35	【 その他の理由 】
2) そう言われれば、そうかな	5	
3) そんな重要な産業とは知らなかった	0	
4) そう言われて、建設業に対する認識を新たにした	0	
5) そう思っていない	0	
6) その他	0	

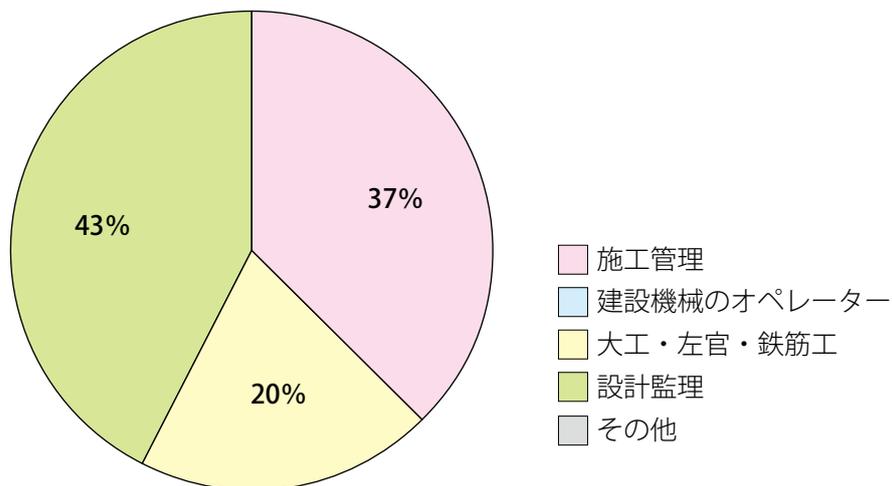


- そう思います
- そう言われれば、そうかな
- そんな重要な産業とは知らなかった
- そう言われて、建設業に対する認識を新たにした
- そう思っていない
- その他

<問5> 建設会社にもし就職したら、どんな職種に進みたいですか

1) 施工管理	15
2) 建設機械のオペレーター	0
3) 大工・左官・鉄筋工	8
4) 設計監理	17
5) その他	0

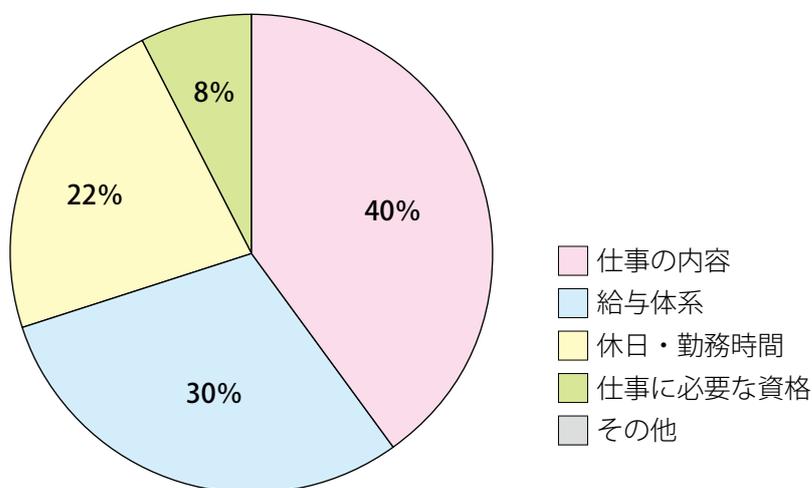
その他の希望



<問6> 建設会社にもし就職したら会社のどのような情報を知りたいですか

1) 仕事の内容	16
2) 給与体系	12
3) 休日・勤務時間	9
4) 仕事に必要な資格	3
5) その他	0

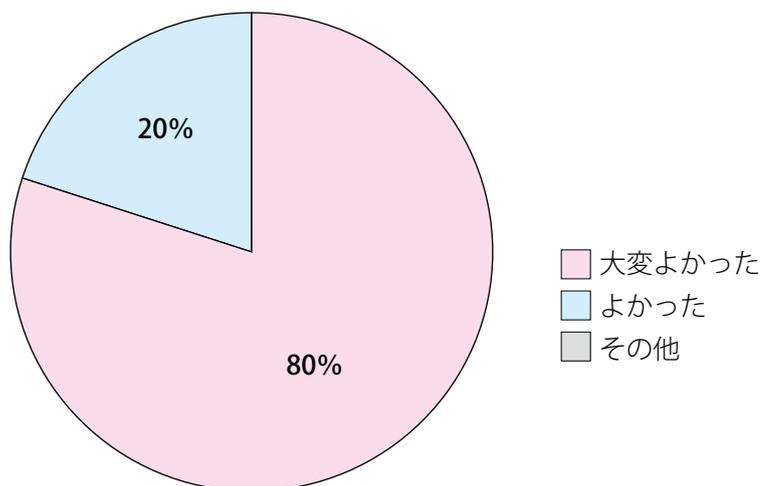
知りたい情報



<問7> 今回の実習はどうでしたか

- 1) 大変よかった 32
- 2) よかった 8
- 3) その他 0

その他の意見



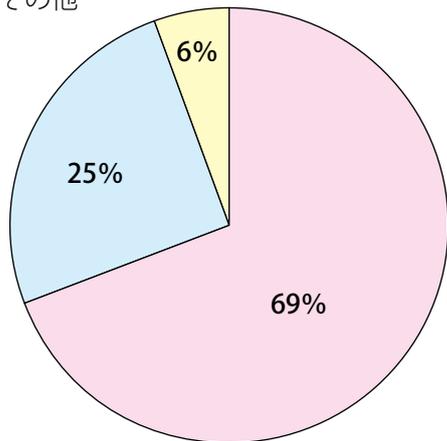


栃木県立那須清峰高等学校 建設工学科

<問1> あなたが在学する高校を選んだ理由

- | | |
|----------------------------|----|
| 1) 建設会社に就職するため（造園・林業含む） | 52 |
| 2) 就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから | 19 |
| 3) 家業の建設業を継ぐため | 4 |
| 4) 特に理由はない | 0 |
| 5) その他 | 0 |

その他の理由

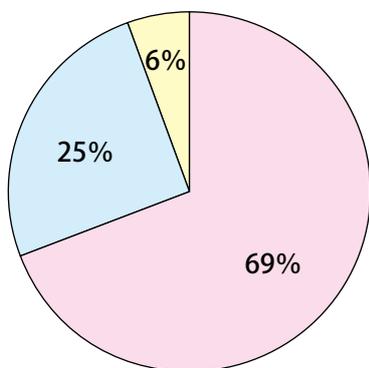


- 建設会社に就職するため（造園・林業含む）
- 就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから
- 家業の建設業を継ぐため
- 特に理由はない
- その他

<問2> 高校卒業後の進路について

【進路希望の割合】

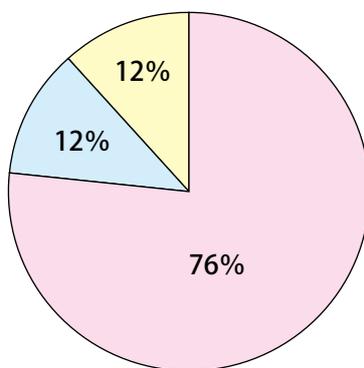
- | | |
|-----------|----|
| 1) 就職希望 | 52 |
| 2) 進学希望 | 19 |
| 3) 家業の後継ぎ | 4 |
| 4) その他 | 0 |



- 就職希望
- 進学希望
- 家業の後継ぎ
- その他

【就職希望者の内訳】

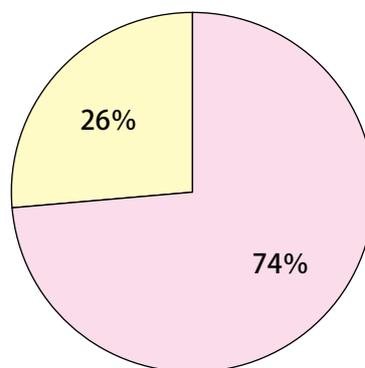
- | | |
|--------------|----|
| 1) 建設会社 | 40 |
| 2) 建設会社以外の会社 | 6 |
| 3) 公務員 | 6 |
| 4) その他 | 0 |



- 建設会社
- 建設会社以外の会社
- 公務員
- その他

【進学希望者の内訳】

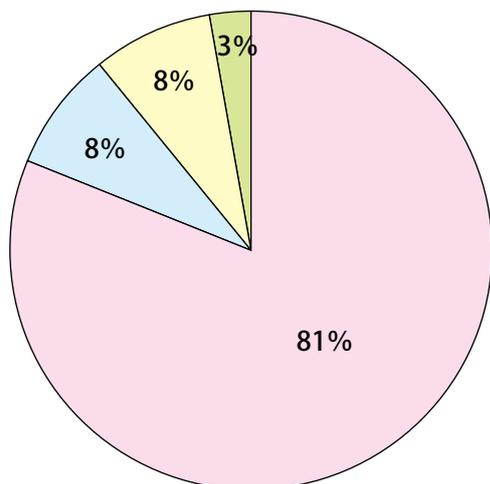
- | | |
|---------|----|
| 1) 大学 | 14 |
| 2) 短大 | 0 |
| 3) 専門学校 | 5 |



- 大学
- 短大
- 専門学校

<問3> 建設業についてあなたはどのように感じていますか

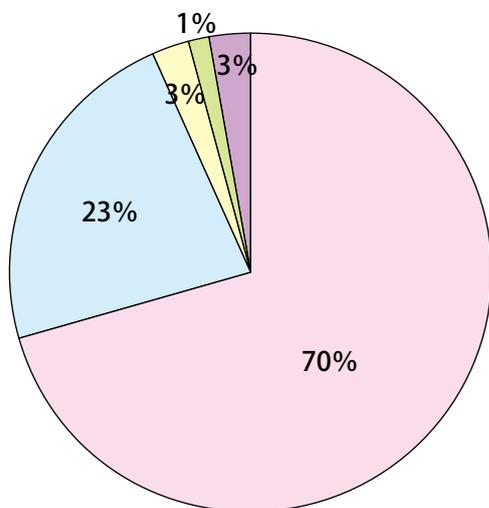
1) 魅力ある職業で、就職したいと考えている	61	【 その他の理由 】
2) 魅力ある職業だが、就職する考えはない	6	
3) よくわからない	6	
4) いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない	2	
5) その他	0	



- 魅力ある職業で、就職したいと考えている
- 魅力ある職業だが、就職する考えはない
- よくわからない
- いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない
- その他

<問4> 建設業は国の基幹産業であり、経済発展に重要な役割を果たしていると思いますか

1) そう思います	53	【 その他の理由 】
2) そう言われれば、そうかな	17	
3) そんな重要な産業とは知らなかった	2	
4) そう言われて、建設業に対する認識を新たにした	1	
5) そう思っていない	2	
6) その他	0	

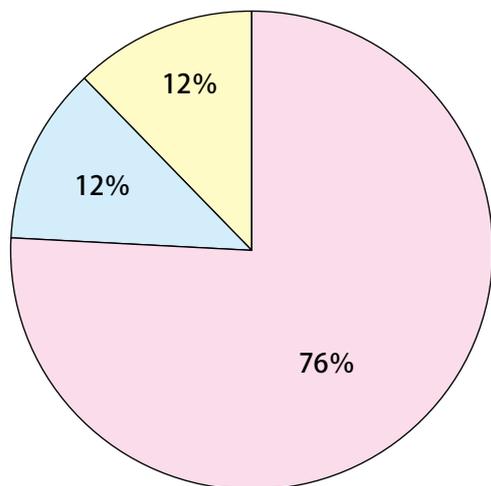


- そう思います
- そう言われれば、そうかな
- そんな重要な産業とは知らなかった
- そう言われて、建設業に対する認識を新たにした
- そう思っていない
- その他

<問5> 建設会社にもし就職したら、どんな職種に進みたいですか

1) 施工管理	57
2) 建設機械のオペレーター	9
3) 大工・左官・鉄筋工	9
4) 設計監理	0
5) その他	0

その他の希望

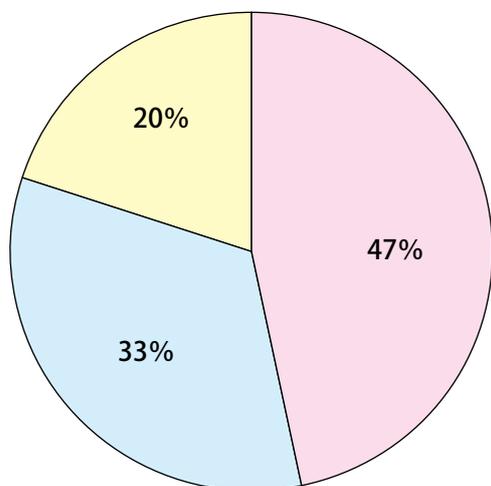


- 施工管理
- 建設機械のオペレーター
- 大工・左官・鉄筋工
- 設計監理
- その他

<問6> 建設会社にもし就職したら会社のどのような情報を知りたいですか

1) 仕事の内容	35
2) 給与体系	25
3) 休日・勤務時間	15
4) 仕事に必要な資格	0
5) その他	0

知りたい情報

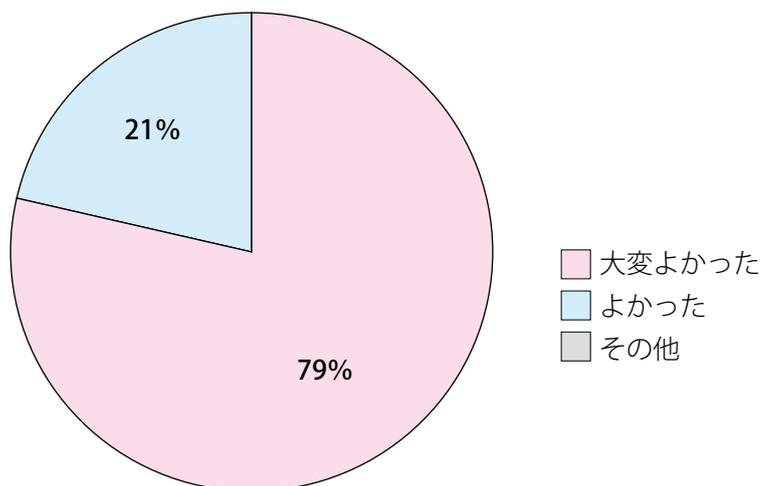


- 仕事の内容
- 給与体系
- 休日・勤務時間
- 仕事に必要な資格
- その他

<問7> 今回の実習はどうでしたか

- 1) 大変よかった 59
- 2) よかった 16
- 3) その他 0

その他の意見



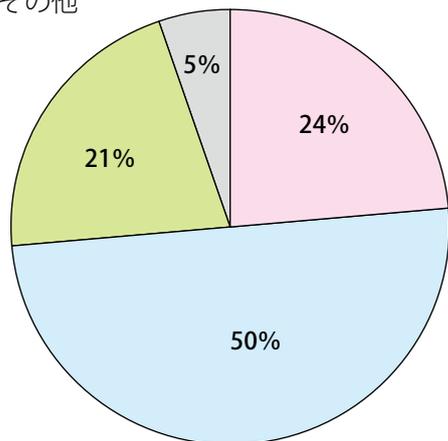


栃木県立真岡工業高等学校 建設科

<問1> あなたが在学する高校を選んだ理由

- | | |
|----------------------------|----|
| 1) 建設会社に就職するため（造園・林業含む） | 9 |
| 2) 就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから | 19 |
| 3) 家業の建設業を継ぐため | 0 |
| 4) 特に理由はない | 8 |
| 5) その他 | 2 |

その他の理由
 ・ライフル部に入っていた
 ・就職しなかったから

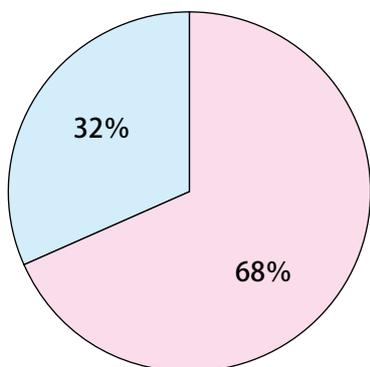


- 建設会社に就職するため（造園・林業含む）
- 就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから
- 家業の建設業を継ぐため
- 特に理由はない
- その他

<問2> 高校卒業後の進路について

【進路希望の割合】

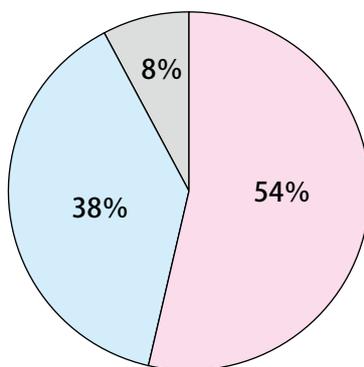
- | | |
|-----------|----|
| 1) 就職希望 | 26 |
| 2) 進学希望 | 12 |
| 3) 家業の後継ぎ | 0 |
| 4) その他 | 0 |



- 就職希望
- 進学希望
- 家業の後継ぎ
- その他

【就職希望者の内訳】

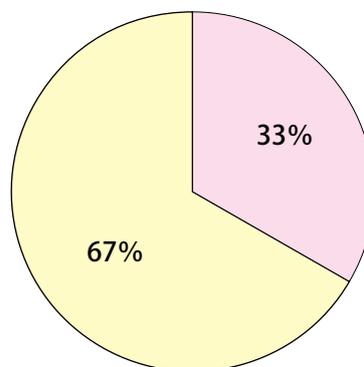
- | | |
|--------------|----|
| 1) 建設会社 | 14 |
| 2) 建設会社以外の会社 | 10 |
| 3) 公務員 | 0 |
| 4) その他 | 2 |



- 建設会社
- 建設会社以外の会社
- 公務員
- その他

【進学希望者の内訳】

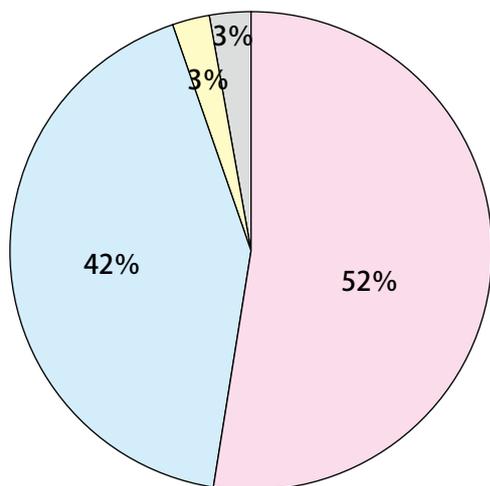
- | | |
|---------|---|
| 1) 大学 | 4 |
| 2) 短大 | 0 |
| 3) 専門学校 | 8 |



- 大学
- 短大
- 専門学校

<問3> 建設業についてあなたはどのように感じていますか

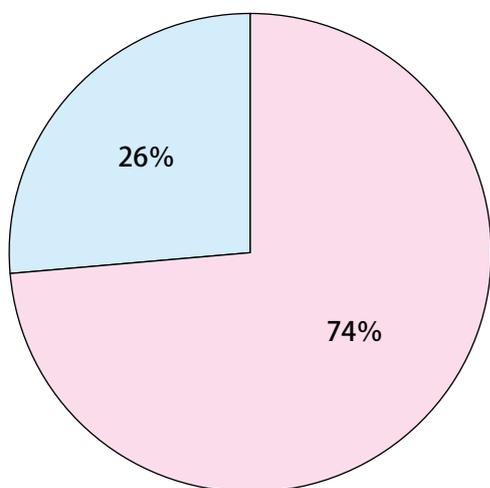
1) 魅力ある職業で、就職したいと考えている	20	【 その他の理由 】
2) 魅力ある職業だが、就職する考えはない	16	
3) よくわからない	1	
4) いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない	0	
5) その他	1	



- 魅力ある職業で、就職したいと考えている
- 魅力ある職業だが、就職する考えはない
- よくわからない
- いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない
- その他

<問4> 建設業は国の基幹産業であり、経済発展に重要な役割を果たしていると思いますか

1) そう思います	28	【 その他の理由 】
2) そう言われれば、そうかな	10	
3) そんな重要な産業とは知らなかった	0	
4) そう言われて、建設業に対する認識を新たにした	0	
5) そう思っていない	0	
6) その他	0	

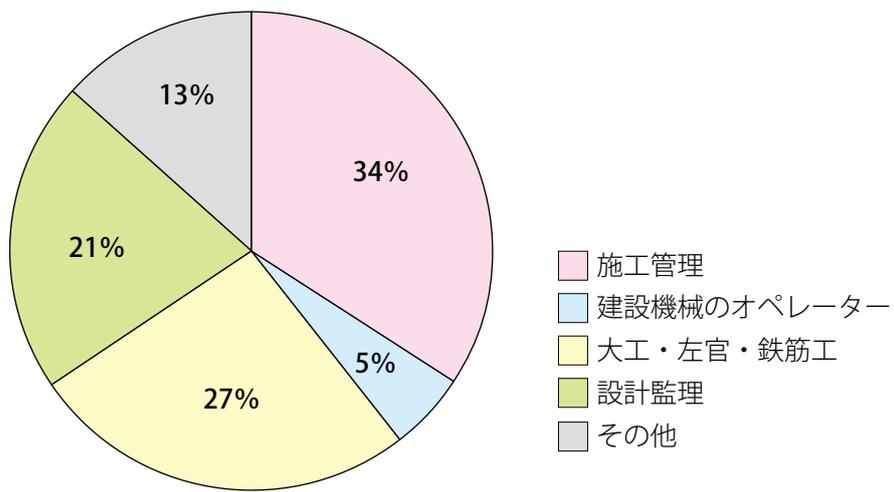


- そう思います
- そう言われれば、そうかな
- そんな重要な産業とは知らなかった
- そう言われて、建設業に対する認識を新たにした
- そう思っていない
- その他

<問5> 建設会社にもし就職したら、どんな職種に進みたいですか

1) 施工管理	13
2) 建設機械のオペレーター	2
3) 大工・左官・鉄筋工	10
4) 設計監理	8
5) その他	5

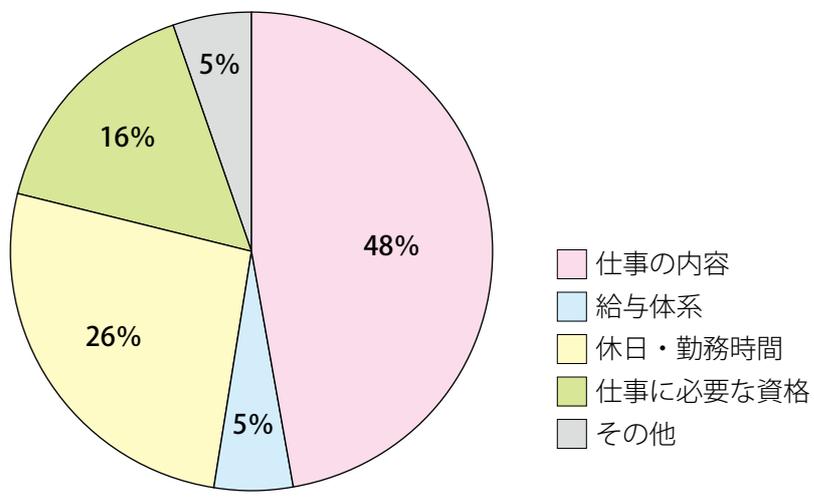
その他の希望
 ・建築士
 ・製造業



<問6> 建設会社にもし就職したら会社のどのような情報を知りたいですか

1) 仕事の内容	18
2) 給与体系	2
3) 休日・勤務時間	10
4) 仕事に必要な資格	6
5) その他	2

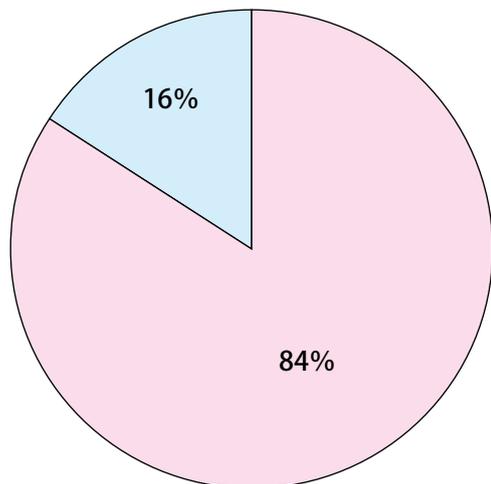
知りたい情報



<問7> 今回の実習はどうでしたか

- 1) 大変よかった 32
- 2) よかった 6
- 3) その他 0

その他の意見



- 大変よかった
- よかった
- その他

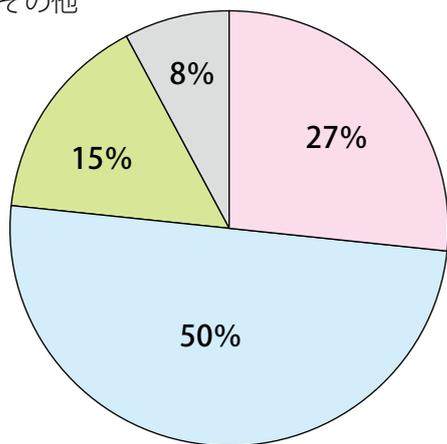


栃木県立今市工業高等学校 建設工学科

<問1> あなたが在学する高校を選んだ理由

- | | |
|----------------------------|----|
| 1) 建設会社に就職するため（造園・林業含む） | 7 |
| 2) 就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから | 13 |
| 3) 家業の建設業を継ぐため | 0 |
| 4) 特に理由はない | 4 |
| 5) その他 | 2 |

その他の理由
 ・資格がたくさん取れる
 ・木材について知りたい

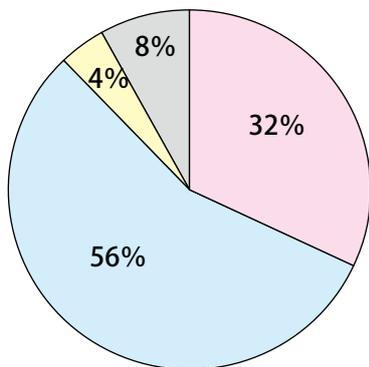


- 建設会社に就職するため（造園・林業含む）
- 就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから
- 家業の建設業を継ぐため
- 特に理由はない
- その他

<問2> 高校卒業後の進路について

【進路希望の割合】

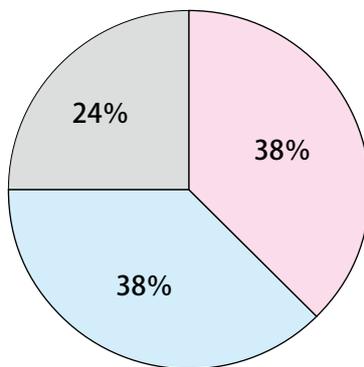
- | | |
|-----------|----|
| 1) 就職希望 | 8 |
| 2) 進学希望 | 14 |
| 3) 家業の後継ぎ | 1 |
| 4) その他 | 2 |



- 就職希望
- 進学希望
- 家業の後継ぎ
- その他

【就職希望者の内訳】

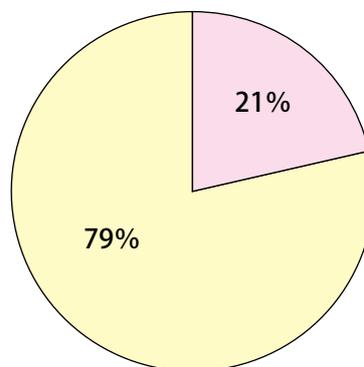
- | | |
|--------------|---|
| 1) 建設会社 | 3 |
| 2) 建設会社以外の会社 | 3 |
| 3) 公務員 | 0 |
| 4) その他 | 2 |



- 建設会社
- 建設会社以外の会社
- 公務員
- その他

【進学希望者の内訳】

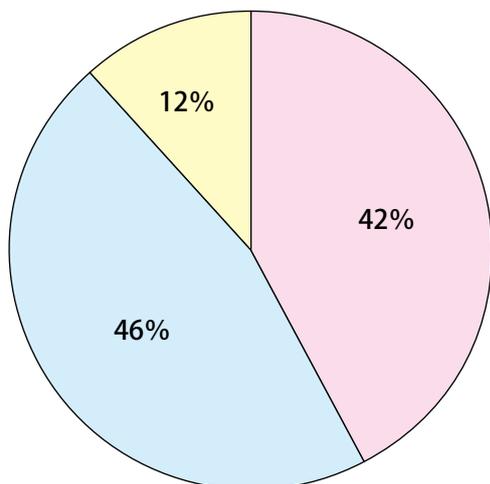
- | | |
|---------|----|
| 1) 大学 | 3 |
| 2) 短大 | 0 |
| 3) 専門学校 | 11 |



- 大学
- 短大
- 専門学校

<問3> 建設業についてあなたはどのように感じていますか

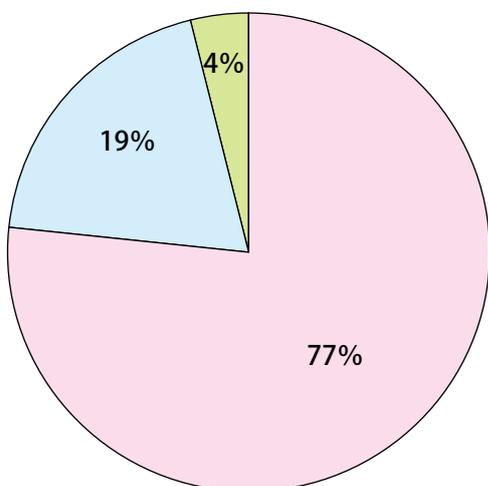
- | | | |
|---------------------------------|----|------------|
| 1) 魅力ある職業で、就職したいと考えている | 11 | 【 その他の理由 】 |
| 2) 魅力ある職業だが、就職する考えはない | 12 | |
| 3) よくわからない | 3 | |
| 4) いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない | 0 | |
| 5) その他 | 0 | |



- 魅力ある職業で、就職したいと考えている
- 魅力ある職業だが、就職する考えはない
- よくわからない
- いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない
- その他

<問4> 建設業は国の基幹産業であり、経済発展に重要な役割を果たしていると思いますか

- | | | |
|---------------------------|----|------------|
| 1) そう思います | 20 | 【 その他の理由 】 |
| 2) そう言われれば、そうかな | 5 | |
| 3) そんな重要な産業とは知らなかった | 0 | |
| 4) そう言われて、建設業に対する認識を新たにした | 1 | |
| 5) そう思っていない | 0 | |
| 6) その他 | 0 | |

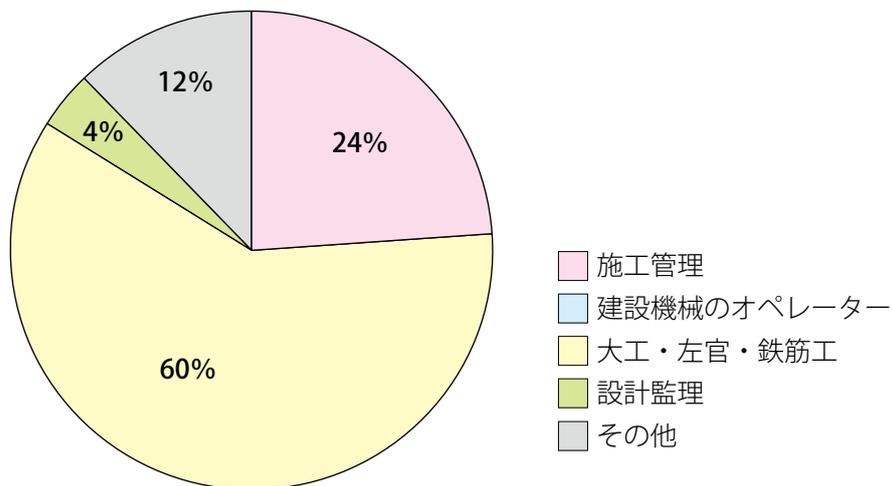


- そう思います
- そう言われれば、そうかな
- そんな重要な産業とは知らなかった
- そう言われて、建設業に対する認識を新たにした
- そう思っていない
- その他

<問5> 建設会社にもし就職したら、どんな職種に進みたいですか

- | | |
|----------------|----|
| 1) 施工管理 | 6 |
| 2) 建設機械のオペレーター | 0 |
| 3) 大工・左官・鉄筋工 | 15 |
| 4) 設計監理 | 1 |
| 5) その他 | 3 |

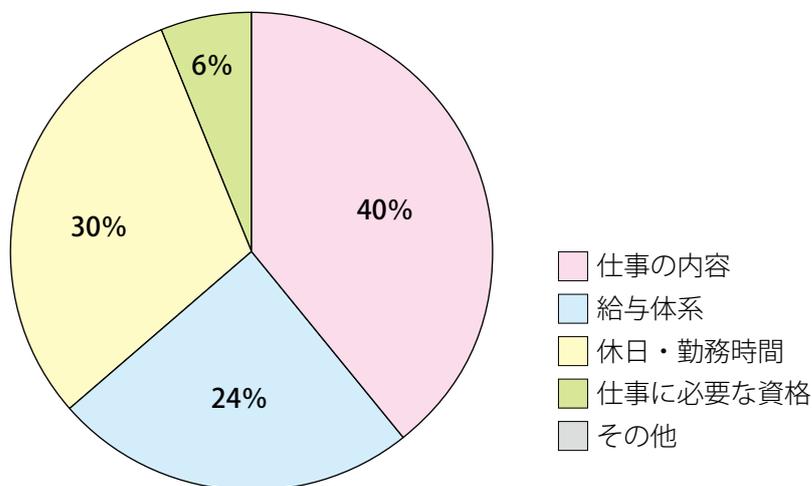
その他の希望
 ・インテリアデザイナー
 ・建築士
 ・CADオペレーター



<問6> 建設会社にもし就職したら会社のどのような情報を知りたいですか

- | | |
|-------------|----|
| 1) 仕事の内容 | 13 |
| 2) 給与体系 | 8 |
| 3) 休日・勤務時間 | 10 |
| 4) 仕事に必要な資格 | 2 |
| 5) その他 | 0 |

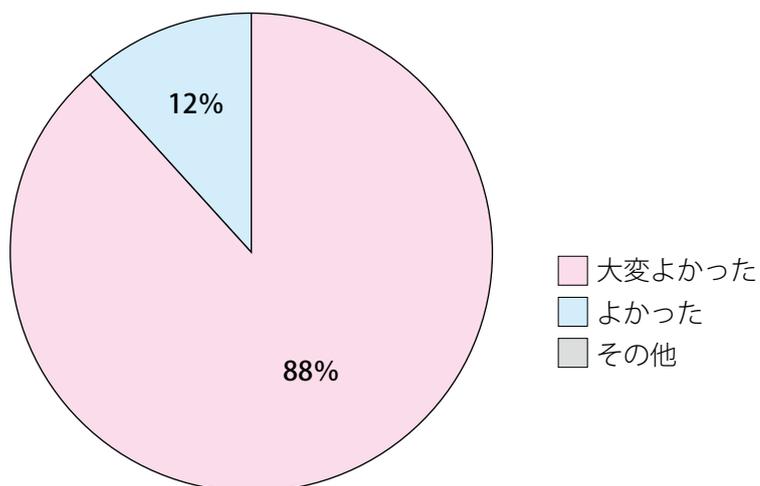
知りたい情報



<問7> 今回の実習はどうでしたか

- | | |
|-----------|----|
| 1) 大変よかった | 23 |
| 2) よかった | 3 |
| 3) その他 | 0 |

その他の意見



一般社団法人栃木県建設業協会は、平成20年度から平成22年度まで国土交通省と文部科学省より指定を受けて栃木県教育委員会と連携のもと「建設業人材確保・育成モデル事業」「地域産業の担い手育成プロジェクト」（建設分野）栃木県内建設系学科設置工業高等学校（宇都宮工業高等学校・那須清峰高等学校・真岡工業高等学校・今市工業高等学校）と研究事業を行い、数多く成果を挙げると共に多方面から評価を得ることができました。

その成果並びに、一般社団法人栃木県建設業協会が「県民の建設業への期待・関心度」を図るべくアンケート結果を踏まえ、当協会としても「若年者建設業担い手育成支援事業」を今後も実施致します。

最後になりましたが、本事業実施にあたり、栃木県及び東日本建設業保証株式会社より助成して頂いたことを報告致します。



平成 30 年度
若年者**建設業**担い手育成支援事業
報 告 書

